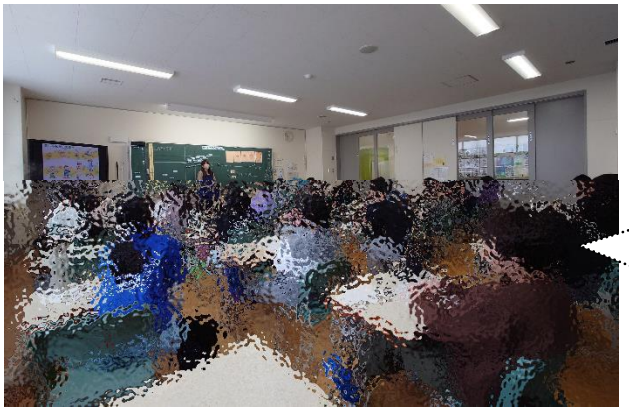
ほけんだより

令和7年１月28日(火)
札幌市立澄川小学校
保健室　4年生用

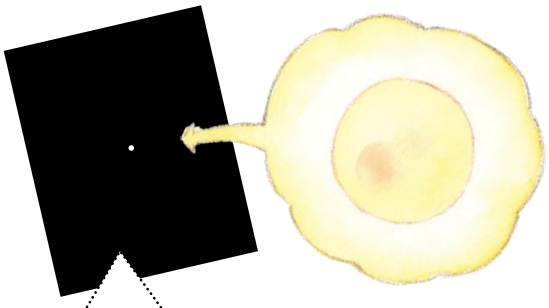
いのちの学習を行いました
～わたしたちのたん生～

4年生のいのちの学習では、まず初めに、自分の誕生日や生まれたときの身長・体重を交流しました。その後、赤ちゃんの産声を聞いたり、「たん生クイズ」に挑戦したりして、いのちの誕生について考えました。また、いのちの始まりから赤ちゃんが生まれるまでの様子を知り、自分たちがどのようにお腹の中で育って生まれてきたのかを学習しました。

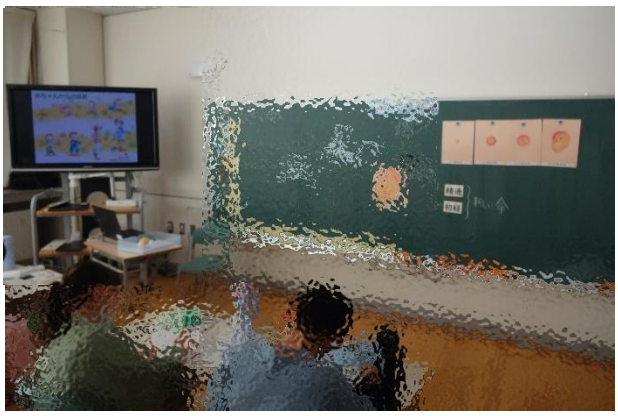
調べてきた身長・体重を、黒板にはりました！生まれてくる大きさも、成長の度合いも、個人差があることが分かりました。



いのちの始まり～誕生までの様子をパソコンを見ながら学習しました。また、だれにでも体の変化（精通・初経）は起こり、新しいいのちをはぐくむための準備がみんなの体にも始まるということを伝えました。



いのちの始まりの大きさとして、画用紙に針で穴を開けたものを配りました。子どもたちは「こんなに小さいの！」とおどろきながら、穴をのぞいていました。



裏面には学習後の感想の一部を載せています。

学習後の子どもたちの感想です

＊自分は昔こうだったんだなあと思えたし、一番最初の大きさが 0.13 ㎜だったことがしょうげきで、赤ちゃんは 10 か月だけでこんなに大きくなるのがすごいと思いました。

＊はじめて知ったことがたくさんありました。あんなに小さかったのに、ここまで大きくなってすごいと思います。これからもがんばって生きていきたいと思います。

＊こんなにもおなかの中で過ごすのはすごいなあと思いました。いのちの始まりがビー玉より小さいとは思いませんでした。

＊10 か月でこんなにも大きくなることを知って、びっくりした。最初は 0.13 ㎜の小さないのちが約 50 ㎝のりっぱないのちになるんだなと思った。あらためて今の自分を生んでくれたお母さんにありがとうを伝えたい。

＊人のいのちが生まれてくるしくみや、お母さんのおなかから生まれてくるまでの期間が知れて勉強になりました。いのちの始まりの大きさが小さくておどろきました。また、成長には個人差があるということが知れて勉強になりました。

＊ビー玉より小さかった赤ちゃんが 10 か月もかけて大きく育つまで、お母さんはおなかを守るのも大変なのに、生まれてくるときもいたいなんて、お母さんすごいなと思いました。おなかの中での成長スピードもとても早くてびっくりしました。いのちの重みをあらためて感じました。

＊新しいいのちを生まれさせることは、とてもむずかしいことが分かりました。だからこそ、今ある自分のいのちにかんしゃして、自分のいのちを大切にしようという気持ちが高まりました。

＊最初は 0.13 ㎜しかなかったのに、だんだん大きくなってきて、最終的には元の 30 億倍になったことがすごいと思いました。あと、生まれたときの平きん体重が分かってうれしかったです。

＊小さないのちから、ここまで大きくなることを知れて楽しかった！赤ちゃんのこととかを知れて、生んでくれたお母さんにかんしゃしています。

＊いのちが始まるときに、0.13 ㎜だとは思いませんでした。そして、どんどん大きくなっていまのわたしたちになったのは、すごいなあと思いました。生まれたときに自分もうぶごえをあげたんだなと思いました。家族にもこのことを伝えたいです。

＊ぼくらが生まれる前はビー玉より小さかったのに、ここまで大きくなれてよかったと思います。生まれたことがきせきだと、今気づきました。

＊いのちがどうやって生まれるか知れてよかったし、クイズも楽しかった。全部が全部、赤ちゃんになってここまで成長するわけじゃないと知って、あらためて自分のいのちを大切にしようと思いました。

生まれたときの身長・体重調べに御協力いただき、ありがとうございました。子どもたちは自分が生まれたときのことに、とても興味をもった様子でした。ぜひ、御家庭でも生まれる前の様子や出産時のエピソードなどを話してみてください。